

2026年春闘回答 過去最高額を更新!!

高い水準の賃上げを継続

7月8日現在、JAM甲信の全63交渉単位のうち、62単組が賃上げに取り組んだ。そのうち61単組から回答があり、さらに53単組では賃金構造維持分に加えて「改善分」についての回答も得られた。(以降カッコ内は昨年最終との比較)

回答・妥結の平均額は12,969円(+1,422円)であり、改善分は9,645円(+1,561円)と、いずれも昨年最終実績を大きく上回り、過去最高額を記録した。

これにより、2023年を起点とした過去最高水準の賃上げを更新した。今後も賃上げ水準の歴史的な転

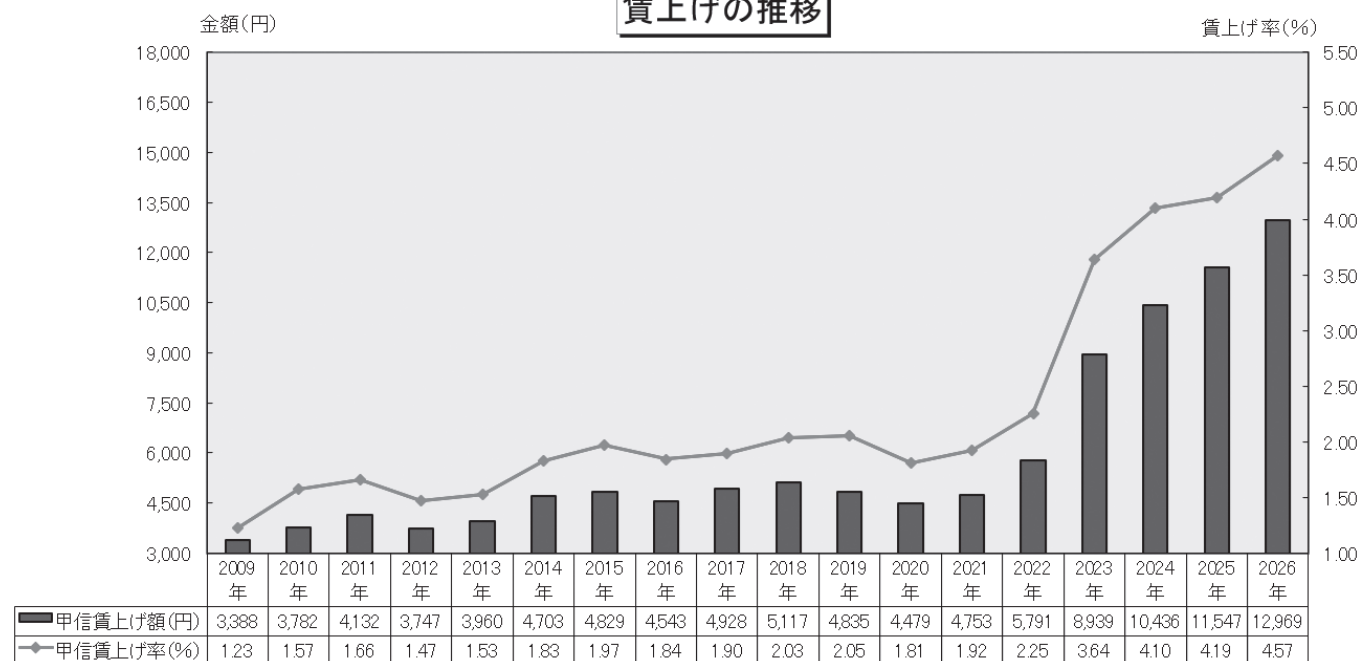
労組主導の取り組み 検証必要

換点として、この流れを確実に維持・拡大していくことが重要である。その上で、職場討議を徹底し、組合員の声を丁寧に吸い上げた単組では、交渉力が一層強化された結果が見られた。要求の段階から組合員の負託に応えられたかどうかを検証し、次年度以降の交渉に活かしていくことが重要となる。

一方、夏季一時金の取り組みについては、賃上げとは別交渉の単組が多く、現時点では過去最高水準で推移しているものの、今後の動向に注視していく必要がある。

交渉単位数 63単組	賃上げ			夏季一時金		
	額/円	率/%	妥結単組数	妥結月数	平均額/円	妥結単組数
実績	12,969	4.57	60	2.31	780,654	35
昨年最終	11,547	4.19		1.95	702,015	
比較	1,422	0.38		0.36	78,639	

賃上げの推移



****お知らせ****
2026年・労働条件調査・賃金全数調査を展開中です。全単組・支部のご協力をお願いします！

JAM甲信 男女参画セミナー

男女脳の違い 相手の立場で考える

JAM甲信は、4月11日（土）に岡谷市のライフプラザマリオにて、「男女参画セミナー」を開催した。当日は女性28名（女性参加者比率32.9%）を含む33単組79名に書記局の6名が加わり、計85名が参加した。

今回は、ターニングポイント(株)代表取締役社長の西田陽子氏に「男女脳と心理の違いを知って人間関係を改善する極意」と題した講演を頂いた。

西田氏は、「男女脳で仕事の価値観に違いがあり、男性脳は“成果”が強く、女性脳は“プロセス”が

強い。どちらも大切な価値観であるが、時として意見が対立する事がある。そのため“相手の立場になって”考える事も重要である」などと説いた。

開催後のアンケートでは、「科学的な内容も含めながら、男女脳の違いやジェネレーションギャップについても聞くことが出来て良かった」「男女脳の違いを分かっているつもりでいたが、活かせていなかったのもので、今後活用していきたい」などの声が多く寄せられ、参加者にとって有意義な学びの場となった。



男女脳で様々な違いがあると説く西田講師



左右で違う顔の印象を実感！

国会見学 議員懇談会

現場の声 友好国会議員へ

JAM甲信は、4月16日（木）、参議院議員会館にて国会見学及び友好国会議員との懇談会を開催し、JAM甲信の役職員25名、政治連盟会員24名、計49名が参加した。また、組織内国会議員の郡山りょう参議院議員、準組織内国会議員の村田享子参議院議員、友好国会議員で長野県選出の羽田次郎参議院議員にもご参加を頂き、意見交換を行った。



国政報告をする郡山参議院議員



現場の声を村田参議院議員へ

意見交換では、参加者から、「製造業の人手不足の原因やその対策について聞かせて頂きたい」「高額療養費の自己負担額が増えるのは、治療と仕事の両立をしていく中で生活面に不安がある」「中国の輸出規制の緩和は、進んでいるのか」など、多岐に渡って日常で感じている現場の思いが友好国会議員に届けられた。意見交換は多くの意見・要望が出され、予定していた90分では足りないほど活発であった。

JAM甲信・男女共同参画委員会は「ジェンダーフリーミーティング」を、2026年4月から6月にかけて、8地区で開催した。

男女共に働きやすい社会の実現には、女性だけでなく男性も一緒に考え、意見交換を行っていく必要があるとの観点から、男性の参加は3年目を迎える。

ミーティング冒頭では、「人手不足の課題～ジェネレーションギャップを知ろう～」と題して基調提起が行われた。講師は、男女共同参画委員会の加藤委員長をはじめ、小尾・都筑副委員長と男女共同参画委員会のメンバーが務めた。

基調提起では、女性活躍が進む一方で、労働力人口は減少傾向にあり人手不足は継続している。その中で中小企業では、特に若年層の離職率が高く、離職理由は人間関係に起因する割合が高い。ジェネレーションギャップもその一因であり、そのことを起因とする様々な課題やその解消方法の他、離職防止のポイントなどが説明された。

開催後のアンケートでは、「世代間や男女間での意見の違いなどを話し合うことで、理解を深めることが出来て良かった」「法改正など、様々な情報を収集できる機会となった」「世代などにより、言葉の受け取り方に違いがあることに気づけて良かった」「ジェンダーフリーについて、話す機会が少ないため、今回意見交換が出来てとても良かった」などの声が多く寄せられ、参加者にとって有意義なミーティングとなった。



講師の問いに答える参加者（飯田）

JAM甲信・青年女性協議会は、2026年4月から6月にかけて、各地区協の青年女性協議会が主催する政策制度セミナー&イベントを8地区で開催した。

前半のセミナーでは「政策を考えてみよう」と題し、小林組織部長から基調提起が行われた。提起では、国会の役割と法律がどのように制定されるかなどの他、国会議員の仕事や、現場の声がどのように国政へ届くのかについて説明がされた。

提起後には、参加者の困りごとを基に①「困りごとの解決策を考える」、②「解決策を実現するための具体策を考える」の2つのテーマに沿って、グループに分かれて意見交換をしながら政策を考えた。①の解決策では、「生産性向上のための設備投資を会社へ交渉する」、「有休が取りづらいため、有休取得義務日数の増加」など様々な解決策が出され、②の具体策では、「設備投資促進のため、既存の補助金制度の拡充を図る」、「多くの現場の声を組

織内国会議員へ伝え、国政へ届ける」など解決策を実現するための様々な具体策が挙げられた。

参加者からは「近年の世界情勢なども盛り込んだ内容であり、社会課題について多角的に考えていかなければならないと思った」「国会の役割の他、法律の制定までの流れや国会議員の役割をより知る事ができて良かった」などの感想が寄せられた。



みんなで政策を考えよう（佐久）

JAM甲信 ステップアップセミナー

みんなで協力！ 楽しく交流！

JAM甲信は、5月30日から31日に富士見町のジュネス八ヶ岳でステップアップセミナーを開催し、青年女性協常任幹事・事務局を含めて27単組・支部から計70名が参加した。

初日は、8チームに分かれスポーツ交流として「ふらばーるバレー」を行った。チーム毎に声を出し合い、不規則に弾むボールを追いかけて終始笑顔がふれる時間となった。その後の夕食では恒例のBBQを楽しみながら、チーム毎にミニゲームとして「お絵描き伝言ゲーム」も行い更に交流を深めた。



声を掛け合い協力プレー！



メンバー全員で作戦会議

2日目は体験型研修として、A4用紙を使用し、繫げた鎖の長さを競う「チームの鎖」と、カンバン方式に倣い、“必要なものを、必要な時に、必要な分だけ作る”とのルールの下、A4用紙や付箋などを使用し、無駄なく効率よく作った“ピザ”の結果で得点を競う「かんぱんピザゲーム」に取り組んだ。各研修では、チーム内で作業分担や効率化を考え、試行錯誤し改善を行いながら高得点を目指した。参加者からは「メンバーとの協力や話し合いがとても良い経験になった」「楽しく参加できたので、来年も開催があれば是非参加したい」といった感想が多く寄せられた。

JAM甲信 安全衛生交流集会

減災・防災意識の向上を

JAM甲信は、6月12日から13日にJAM甲信第18回安全衛生交流集会を開催し、23単組31名が参加した。

第1部はNTN労働組合長野支部のご協力の下、NTN株式会社社長野製作所にて安全パトロールを実施した。参加者は安全衛生の視点から良かった点や気になった点を、メモを取りながら工場内を見て回った。

第2部は、会場を伊那市の「高遠さくらホテル」に移し、グループに分かれ安全パトロールの結果を



安全パトロールの気づいた点をまとめる参加者

共有・討議を行った。参加者からは「全社で安全衛生への意識が高い」「製品などが定位置化され、5Sが徹底されていた」「工場内の断熱対策がしっかりしていた」など、作業環境に対する高い評価が多くあった。

翌日は、風土刷新コンサルタントである長谷川孝幸氏を講師に招き「ヒューマンエラー、こうすればなくなる」と題して講演を頂いた。

講演では、「天災などの避けがたい事象は、減災の意識を持ち被害を小さくさせ、ヒューマンエラーなどの避けることができる事象は、防災の意識向上に努め、災害を発生させない取り組みが重要である」などと説いた。

参加者からは「多様な安全衛生活動が大変参考になった。自社に落とし込んで取り組んでいきたい」「講演では、チーム討議を組み込みながらであり、多くの気づきと学びが得られて良かった」などの感想が寄せられた。

☆HPも随時更新! <https://www.jamkoushin.com> ☆